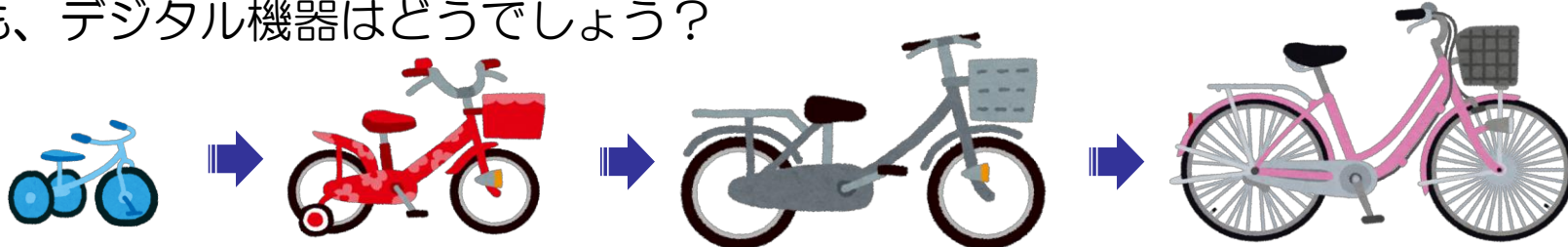




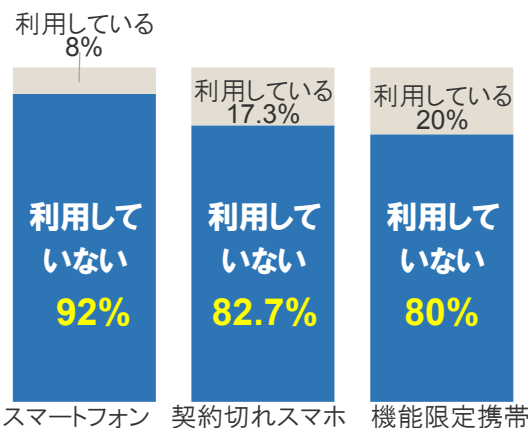
初めから“大人と同じ道具”を、安全に利用できる設定もせず自由に使わせているのは、スマホやタブレットだけなのです

もしも、大人用の自転車をそのまま小さくしたものがあつたとしたら、お子さんに与えますか？ 子供用の自転車が単に小さいだけではないことは、周知の事実です。でも、デジタル機器はどうでしょう？



自分のスマホは大人用、幼い子供に貸すのならひと手間かけて！

使用者が成人の場合、契約時にフィルタリングの説明も有効化も行われません。そのため、スマホを子供に貸す際にフィルタリングをかけている保護者はたったの8%。(H29内閣府調査より/右図) 親スマホによるトラブルが年々増えている現状も、うなずけます。



でも、普段使っているスマホにフィルタリングをかけると自分が使うときに困りませんか？ 設定が面倒では？

大丈夫!!



今のフィルタリングは、ちょっとした操作でオン/オフの切り替えができます。ただし、大人がフィルタリングを利用するには申し込みが必要。サービス窓口や店頭、公式サイト等で利用の申請をし、適用されたら初期設定を行いましょう。普段はオフにしておけば、不便は全くありません！

子供のデジタル機器利用に伴う不安は、そのままにしないで！

よくある質問1 健康や発達に影響がでてこないかが心配

デジタル機器の乳幼児への影響はまだよくわかっていませんが、寝る前の使用は良質な睡眠を妨げるとも言われています。**ぬり絵、ブロック・パズル、絵本ほか、より安全性の高いもので遊ばせ、スマホ等はやむをえないときに。**



よくある質問2 コミュニケーション力の欠如や依存症が心配

言語活動能力は子供に必要な力として、学校でも指導が行われています。**一緒に遊ぶ・学ぶ、楽しく話をするなど、日々の生活での小さな積み重ねが将来役に立つ**と考え、工夫しましょう。人とのコミュニケーションが楽しければ、スマホやゲームに向かう時間が自然と減り、依存の予防にもつながります。

